

利用者 60 万人突破！ 各問題約 7 割の正解率
「暮らしに役立つ「マネークイズ」」
NPO 法人 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会

特定非営利活動法人(NPO 法人)日本ファイナンシャル・プランナーズ協会(略称日本FP協会 理事長 白根壽晴)は、生活者の金融リテラシー向上を目的に、手軽にクイズ形式で学べるWEBサイト「暮らしに役立つマネークイズ」を平成23年1月より開設しています。このたび開設5年を経過いたしましたので、利用状況について以下のとおりまとめました。

WEBサイト「暮らしに役立つマネークイズ」は、学生・シングル・ファミリー、シニアの3つのコースに分かれており、暮らしとお金に関する知識(ライフプラン、貯蓄・投資、税・社会保障、リスク・保険、消費生活・契約、金融経済の仕組み・考え方、倫理・責任感)について、各コースとも15問出題されます。解答すると正解と解説以外にファイナンシャル・プランナー(FP)からのメッセージがクイズごとに表示され、さらに詳しく知りたい方には、弊会発行の小冊子の内容が閲覧できるページへのリンクが紹介されています。

クイズは、ストックされた問題からシャッフルされて出題されるため、複数回チャレンジすることで、暮らしとお金に関するより多くの知識を手軽に身に付けることができます。

■「暮らしに役立つマネークイズ」利用状況

平成23年1月から平成28年3月までの約5年間について、総解答者数は延べ604,749人、そのうち約6割がシングル・ファミリーコース、学生及びシニアコースが各約2割でした。また、問題ごとの正解率は72.4%、7つのテーマ別の正解率は、ライフプランが79.4%と最も高く、GDPなどの経済指標や金利など、金融経済の仕組み・考え方が57.5%と最も低い結果となりました(詳細は別紙)。

これからも生活者の役に立つ暮らしとお金に関する知識をわかりやすく、そして楽しく学べるように、問題を工夫し随時入れ替えて当サイトを運営してまいります。

「暮らしに役立つマネークイズ」

<http://www.jafp.or.jp/knowledge/mquiz/>



日本FP協会は、社会教育活動としてファイナンシャル・プランニングの普及とパーソナルファイナンス教育を推進し、質の高いFP(ファイナンシャル・プランナー)の育成を通じて、社会全体の利益の増進に寄与することを目的としたNPO法人です。

◆本件に関するお問合せ先

担当	日本FP協会 広報部広報課 金田・田和	TEL	FAX	E-mail
		03-5403-9739	03-5403-9795	info@jafp.or.jp

特定非営利活動法人(NPO 法人)日本ファイナンシャル・プランナーズ協会

<本部事務所> 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス5F TEL 03-5403-9700(代) FAX 03-5403-9701
<大阪事務所> 〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜1-4-19 マニユライフプレイス堂島5F TEL 06-6344-8063 FAX 06-6344-8065

学生コース

全15問

Q7 (A)、(B)に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものは次のうちどれでしょうか。
可処分所得(手取り収入)とは、収入から所得税、(A)、(B)を差し引いた金額のことをいいます。

- 1. A.住民税 B.消費税
- 2. A.消費税 B.社会保険料
- 3. A.住民税 B.社会保険料

正解と解説はこちら

正解!

3

正解は
でした

解説 「可処分所得」は、一般に税金がかかる前の家計収入から、支出が義務付けられている税金と社会保険料を差し引いた残りの所得のことをいい、自由に使える手取り収入といえます。
消費税は、原則としてお店で物やサービスの購入時に売価に上乗せして支払う税金です。消費税の負担は消費者ですが、支払われた消費税はその店を通じて税務署に納付され、負担者と納税義務者が異なることから、消費税は「間接税」と呼ばれます。

支 給		控 除	
項 目	金 額	項 目	金 額
基本給	170,000	健康保険料	7,800
時間外手当	13,500	介護保険料	0
通勤手当	9,400	厚生年金保険料	13,900
		雇用保険料	1,500
		所得税	3,620
		住民税	10,000
総支給額(A)	192,900	控除額総計(B)	36,820
		差引支給額(A-B)	156,080

FPからのメッセージ

会社などで働きお給料をもらうと、実際にもらえるお給料が少ないと感じるかもしれません。
これは、お給料の総額から社会保険料や税金が引かれて支給されるからです。社会保険料や税金は、私たちが社会生活を行うために必要なモノやサービスに使われています。
機会があれば、給与明細を見て、どれぐらいの社会保険料や税金を納めているか確認してみましょう。

さらに詳しく調べるには

「10代から学ぶ パーソナルファイナンス」Lesson 8 税金と社会保障

次の問題へ
PUSH

<別紙>

「くらしに役立つマネークイズ」利用状況等

■概要

目的: 生徒、学生及び生活者の金融リテラシー向上並びにパーソナルファイナンス[※]教育(金融経済教育)における
ファイナンシャル・プランニングの普及

方法: WEB サイトから解答すると、1 問ごとに正解と解説、FP からのメッセージや参考テキストが表示される
<http://www.jafp.or.jp/knowledge/mquiz/>

コース: スチューデントコース、シングル・ファミリーコース、シニアコースの 3 つのコース

出題数: 各コース 15 問

出題問題: 各コース 120 問の中から問題が入れ替わり、およそ四半期ごとに新規の問題を追加しています。

テーマ: ライフプラン、貯蓄・投資、税・社会保障、リスク・保険、消費生活・契約、金融経済の仕組み・考え方、
倫理・責任感の7分野

■利用状況集計結果 (平成 23 年 1 月から平成 28 年 3 月)

<解答者数 (人)>

コース名	スチューデントコース	シングル・ファミリーコース	シニアコース	合計
解答者数	119,887 人	351,485 人	133,377 人	604,749 人

<テーマ別の正解率 (%)>

テーマ	スチューデント コース	シングル・ファミリー コース	シニア コース	平均
ライフプラン	84.7%	74.1%	79.5%	79.4%
貯蓄・投資	84.1%	68.0%	69.1%	73.7%
税・社会保障	75.4%	68.8%	75.4%	73.2%
リスク・保険	82.0%	74.7%	80.6%	79.1%
消費生活・契約	81.0%	68.1%	73.7%	74.3%
金融経済の仕組み・考え方	64.8%	49.6%	58.0%	57.5%
倫理・責任感	79.2%	62.8%	66.1%	69.4%
全体平均	78.7%	66.6%	71.8%	72.4%

■出題問題例

<スチューデントコース問題例> お金が 2 倍になる期間がわかる「72 の法則」に関する問題

問題: 銀行などにお金を預けると利息が付きます。10 万円を金利 2% で貯蓄した場合、20 万円になるのにおおよそ何年かかりますか。次の中から選んでください(税金は考慮しません)。

選択肢: ①18 年 ②24 年 ③36 年

正解: ③ 正答率 58.8%

<シングル・ファミリーコース問題例> 投資信託の手数料に関する問題

問題: 投資信託の中には「ノーロードファンド」と呼ばれる商品がありますが、この金融商品の説明として正しいのは次のどれでしょうか。

選択肢: ① 販売手数料が無料の投資信託 ② 信託報酬が無料の投資信託 ③ 分配金が非課税の投資信託

正解: ① 正答率 44.4%

<シニアコース問題例> リバースモーゲージに関する問題

問題: 老後の生活費を調達する手段として、「リバースモーゲージ」という制度が活用されつつあります。さて、この制度で担保となる資産は次のどれでしょうか。

選択肢: ① 不動産 ② 定期預金 ③ 株式

正解: ① 正答率 91.6%

※パーソナルファイナンスとは、長期的なライフプラン(生活設計)の視点に立った「個人のファイナンス」のことをいいます。個人の生き方が多様化するなか、一人ひとりの生き方にあったお金の知識や活用方法を身につけ、家計の適切な管理や合理的なライフプランを立てることが必要不可欠となっているという考え方を基にしています。なお、弊会は生徒・学生、ファミリー、シニア世代別に、身に付ける必要のある知識・スキルを体系化した「パーソナルファイナンス教育スタンダード」に基づきマネークイズの問題も作成しています。

以上